

令和5年度第2回福井県地域職業能力開発促進協議会 議事概要

日時：令和6年2月8日（木） 10:00～12:00

場所：福井春山合同庁舎 14 階労働局会議室

議事

1 開会あいさつ 福井労働局赤羽職業安定部長あいさつ

2 議題

(1) 最近の雇用失業情勢について

令和5年12月分の雇用失業情勢について、福井労働局訓練課長より説明を行った。

(2) 公的職業訓練の令和5年度実施状況等の報告について

求職者支援訓練の令和6年1月までの認定定員、実施定員、受講者数、開講コースの充足率、就職率などの実施状況等について、労働局訓練課より説明を行った。また、公共職業訓練（施設内・委託）の令和5年度の実施定員、受講者数、開講コースの充足率、就職率などの実施状況及び令和6年度の計画等について、福井県産業労働部労働政策課と（独）高齢・障害・求職者支援機構福井支部より、それぞれ説明を行った。

(3) 第2回中央職業能力開発促進協議会の結果について

令和6年1月30日に開催された、第2回中央職業能力開発促進協議会の結果について、労働局訓練課より説明を行った。また、全国の令和5年度の公的職業訓練効果検証ワーキンググループ実施状況及び令和6年度検証対象とする訓練分野をデジタル分野とする事務局案について、労働局訓練課より説明を行った。

(5) 令和6年度福井県地域職業訓練実施計画（案）について

第2回中央職業能力開発促進協議会での結果を踏まえ、令和6年度福井県地域職業訓練実施計画（案）について、労働局訓練課と福井県産業労働部労働政策課より説明した。

3 質疑・意見交換について

各参加者からの主な発言は以下のとおりです。

構成員

資料の P5 産業別新規求人数と有りますが、この中でデジタル分野の求人数と言うのはどの項目に該当しますか。

事務局

デジタル分野は広範囲であり主には事務系、情報処理等に含まれてきますが、この雇用失業情勢の産業別求人の中で項目として明確に区別することは困難です。

構成員

デジタル分野の成長分野に、訓練を充実していこうとするので有れば、分野の求人がどのくらい有り就職は満たされているのかを押さえたうえで、分析・検証していく必要があるかと思います。

構成員

中小企業の団体窓口である経済産業省の、「物作り補助金」に省力化省人化枠ができ、人材不足は慢性的なので機械化（デジタル化）していこうとしています。織物（織機）・建設（什器）、農業分野（コンバイン等）幅広い各分野で必要としています。分野別不足しているデータが取れると良いと思います。

構成員

あらゆる分野で、効率化できるのは事務職なので、各企業目が行きがちなのかと思います。

デジタルといっても幅広いので何を教えるのか？というところにニーズがあるのか調査したらよい。

事務局

昨年から、デジタルコースを増やした一方で、就職先が難しいと思っておりましたが、デジタル訓練は充足率も就職率も高く、事務系・専門職・現業と幅広く就職先があり、傾向は取りまとめてお示しすることは出来ると思います。

構成員

P9の求職者支援訓練の実施状況中で、デジタル分野がありこれは教えている内容での分類だと思うのです

が、その就職率が他職種と変わらないのが、まだ難しいところでありどの産業・どの企業・どの職業に就職しているのかデータ的に把握できると就職率も高めていけるかと思うので、検討して頂きたい。

構成員

この計画案について介護分野・デジタル分野を重点に計画が組まれています。P27 の公共訓練において、県とか国の介護関係人材育成を充実したらより良い計画になるかと思えます。

事務局

ここに記載していませんが、厚生労働省で雇用保険受給者限定の介護労働講習は全国で組まれていますので、記載しても良いのかと思えます。ただ、介護訓練は、公的訓練だけでなく、教育訓練給付の中でも増やす必要があると思えます。介護分野の人材を充実させるには、HW において介護経験者を掘り起こすことも検討していく必要があると思えます。介護だけに特化せず全体的な計画案としてお願いしたいと思えます。

構成員

昨年末から指導員の要望として、お願いしているのですが、いろんな機関の訓練の一元化をして情報整理し、来年度には訓練の一覧表が添付されていると非常にありがたいです。

構成員

建設業界について、高齢化・人材不足しているところに、今回の能登半島地震で県内の建設人材が能登に集約されてしまうと、県内の都市計画が遅延していくことになるので若い人の訓練に力を入れていくべきではない

かと思えます。

事務局

建設業界の人材不足は続いているが、一方で建設業の訓練カリキュラムを組んでも人が集まってこないことが課題。建設現場は一般的に思われるような労働環境ではないとアピールするため、現場のバスツアー見学会なども組んだりしています。

構成員

オペレータは、重機に乗らなくてもデジタル分野で操作できるのも魅力の一つかなと思います。そういった点を少しアピールしてもらえると良いかと思えます。

事務局

その様な、ニーズに応えられる様にしていきたいと思えます。

構成員

建設分野で（遠隔操作）の実用化レベルになってきた、障害者の方が現場に行かなくても出来るようになって来ており、障害者雇用にも繋がっていくと思うので一つの案かと思えます。

構成員

建設分野において、公共事業受注者等の大企業は組織化されていて、就職環境もしっかりしていますが、工務店レベルの一人親方のような中小企業は、若い方に魅力ある就職環境が提起できていないのが根本の要因

としてあると思います。今後経営体そのものの改善を意識して、計画の中に組み込んでいただけると良いと思います。

構成員

他学校との話の中で、デジタル分野の生徒が増えないし、就職者も変わらない。就職担当者によるとプログラマーよりも、各ソフトを扱える人材が欲しい。S Eよりカスタマーエンジニアを企業側は必要としている。福祉系は、介護福祉士のハードルが高いので、少しできるデジタル人材を企業側は求めているので、そのような訓練を組んでほしい。

構成員

具体的な例を挙げると福井県の織物工業組合が、独自の「設備導入補助金」を行っており、織機のカスタマイズ希望が多いと予想したが、パソコンがダントツ1位で、インボイス対応のいろんな既存のソフトに対応できる人、サーバの管理ができる人を求めているのが実情。

事務局

委託訓練のプロポーザルの要件として、介護・事務分野にも必ずIT分野を、取り入れることになっており、すべてのコースで必ずパソコン等の操作を取り入れています。デジタル分野について、長期コース・6か月コースは、基本情報技術者の資格が取れ、プログラマーとして就職。3・4か月コースは、簡単な資格取得と、基礎的な内容を取入れ間口が広がるように、各業種に就職できるようなコースを組んでいます。IT分野の就職率の分析ですが、上がらない理由は、企業側が求める高い能力と、訓練受講者の高望み等の、差が大きなミスマッチとなり就職率が上がらない。加えて若い方が採用されやすいのも一つの要因です。

構成員

デジタルを求める企業側の方は、省力化・省人化を社内で推進できるトータルコーディネートする人材を、求めている傾向があります。難しいと思いますが、そういった上級者向けコースもあると良いと思います。

構成員

商工会は小規模事業者を支援する立場で、基本的業務のデジタル化に対応できる人材を求めている企業が多いのは事実です。小規模事業所では、高いパソコンスキルの人材よりは、3.4 か月で資格が取れる人材を求めているのではないかと感じます。

構成員

医療事務系訓練は、希望する方が減っており、以前は受付・患者との触れ合いを希望する人が多かったのですが、最近では、患者との接触を避け先生の側でパソコン操作（医師事務）を希望する人が増えてきています。次年度より訓練カリキュラムをパソコン系に変えていかないと厳しいと考えています。

構成員

専修学校においては、公的な資格を持って卒業しますが、最近無認可校が増えています。（特に愛知・三重）無認可校というのは、訓練内容は専門学校と同じようなカリキュラムを組み、スキルアップしますとありますが、実際は資格が取れない。最近では（株）バンタンが出てきて危機感を感じています。公共訓練にも少なからず影響が出るのではないかと考えています。

構成員

別の視点からですが、この福井県地域訓練の就職率について、北陸3県の中で人口は少ないのに県外への流出率が高い、県内に仕事はあるが、人材がない現象があり、訓練終了後に県内に定着させるための何か政策を進める必要があるとそれについて前面に出して方策を考えた方が良いのではないかと感じました。

事務局

P18 にあります公的訓練とは別に、教育訓練給付制度における地域の訓練コースを踏まえた指定講座について福井県で増やしていくための何か意見等ございましたらお願いします。

構成員

農業分野では、県内でドローン使用が増え、石川県に受験に行く事情があります。福井県は、高度先進県のためデータ送信拠点を増加し、ご検討いただけるとありがたいです。

構成員

高度な訓練、そうでない訓練等様々な訓練がある中で指定講座を増やしていけると良いと思います。

事務局

デジタル分野の指定講座が当県はないことについても検討の余地があると考えています。

令和6年度に福井県公的職業訓練効果検証ワーキンググループで検証対象とする訓練分野をデジタル分野とする事務局案及び、令和6年度福井県地域職業訓練実施計画（案）は了承され、各構成員からの意見等を参考に、令和6年度に実施していくこととなった。

5 閉会あいさつ 福井県産業労働部小野田副部長あいさつ